

特定医療法人誠仁会

大久保病院だより

No. 30
平成30年
8月20日

編集・発行 | 特定医療法人誠仁会 大久保病院 地域医療連携室 ● 明石市大久保町大窪2095-1 TEL078(935)2680 FAX078(935)2684



①大久保病院ボランティア文庫を地域連携室前に設置しています。
診察や検査の待ち時間にご利用ください。



②「聴覚障害者と視覚障害者の表示カード」を採用しました。
基本伝表ファイルにカードを入れ、聴覚・視覚障害者の受診サポートを職員全体でできるようにしたものです。



③マスク自動販売機を正面玄関入ってすぐ左の公衆電話機に設置いたしました。
風邪症状がありマスクをお持ちでない方はご利用ください。2枚入りで100円です。



第9回 大久保地区病診連携の会を開催しました



平成30年6月9日(土)西明石キャッスルプラザホテルにて「循環器疾患の治療」をテーマに、第9回大久保地区病診連携の会を開催しました。多くの開業医の先生方にも参加いただきました。

一般演題として、当院の佳山医師より「地域医療における当院循環器内科の心疾患の取り組み～現状報告と今後の展望～」について講演をさせていただきました。

狭心症や心筋梗塞は「胸痛」の症状が必ずあると思われがちですが、高齢者や糖尿病患者では痛みを感じる神経の障害により、自覚症状がないことがあります。何も症状がないため、自分は健康だと思っても実際は狭心症や心筋梗塞の場合があり、これらを早期に発見するためには循環器的検査が必要です。また、狭心症・心筋梗塞患者は頸動脈や下肢動脈にも病変があることが多く、検査・治療介入が必要で

あることを報告いたしました。

続いて、神戸学院大学栄養学部の藤岡由夫教授に「脂質異常症の食事療法と薬物療法」について、LDLコレステロールの値に着目し様々なデータの比較や分析をされ、実際診療された患者様の貴重なお話も交えながらご講演いただきました。講演後も先生方より多くの質問があり、今後の連携に役立てさせていただきます。今回の講演会が大久保地区における循環器疾患治療の発展に貢献できれば幸いです。

血圧が気になる、動悸や息切れ、また、歩くと足が痛くなり止まるとおさまる、などの症状がある場合や、健診で心電図やコレステロール値の異常を指摘された方、症状は無いが糖尿病や高齢のため動脈硬化が心配だと思われる方は、お気軽に当院循環器内科にご相談ください。

循環器内科 佳山 智生
(担当外来診察日：火曜日午前・金曜日午前)



編集後記

No.30号は講演会の報告が沢山ありましてやや詰め気味になりました。自然災害で予想外の大雨による土砂崩れや堤防決壊ニュースを見ているだけで不安になる小市民なわたくしですが、今度は高気圧が二重に重なっているということで40度を超える猛暑日が続く今年の

夏でございます。熱中症にご用心です。皆様、ご自愛くださいませ。

頑張っ
て暑い夏を
乗り切
りましょ
う!!



- 交通機関をご利用の方
- JR山陽本線「大久保」駅下車、北へ徒歩15分
 - 「大久保」駅北口より神姫バス
 - ②のりば 19「山手台」行き
 - ③のりば 12「西神中央」駅、「上岩岡」、「五百蔵」行き「山手小学校前」バス停下車、東へ徒歩5分
- 車をご利用の方
- 第二神明道路「大久保IC」より、大久保方面へ約10分

特定医療法人 誠仁会
大久保病院
〒674-0051 明石市大久保町大窪2095-1
tel. (078) 935-2563
<http://www.seiinkai.or.jp/okubo/index.html>



高丘みちくさサロン



平成30年6月16日(土)午後、梅雨の中休みで快晴の中、高岡コミュニティセンターにて高丘みちくさサロンが開催されました。地域住民の方々の健康増進・意識啓発を目的として今回は「知って防ごう!腎臓病のあれこれ」と題しまして、約1時間半にわたり腎臓病についての講義を行いました。

腎臓の位置や働きなどの基礎的な内容から、慢性腎臓病の症状や予防法、また進行を防ぐための食事療法や薬物療法などの保存的療法、生活習慣病との関わり合いや、さらには透析について実際に使用している透析機器を用いて説明するなど、全般的な腎臓病に関する内容をお話しました。ご参加いただいた皆様には熱



心に耳を傾けていただきました。これからも地域の方々の腎臓病に対する意識向上に向け、努力していきたいと思います。

腎臓内科 山本 聡
腎臓内科診察日:

(月曜日・火曜日・木曜日・第1、第3土曜日)

市民講座

第1回 平成30年5月12日(土)
～これだけは知っておきたい腰の話～

さわやかな風が吹く心地よい気候の中、大久保北コミセンにおいて、大久保病院主催の市民講座が開催されました。講師は、明石脊椎外科・腰痛センター長の石井崇大医師が務め、「これだけは知っておきたい腰の話」をテーマに、地域の皆様へお話をさせていただきました。「脊椎の手術とはどのようなものか」「術後はどう過ごしているのか」など、腰痛をお持ちの方は興味津々で、最後の質問コーナーでは時間いっぱいまでご質問が寄せられ、大盛況のもとに終了となりました。



第1回



第2回

第2回 平成30年5月19日(土)
～簡単にできる腰痛体操～

市民講座の2回目は、当院の理学療法士2名(阿曾沼 洋平・松本 健)がリハビリの観点から講演しました。多くの方々にご参加いただき、皆様が腰痛に悩まされていると痛感しました。まず始めに、「腰痛とは何か?」をお話し、生活での注意点を挙げ、浴槽の洗い方、台所仕事など、意外に身近なところで腰へ負担をかけていることに皆様頷かれていました。最後に、自分でできる体操として、足のストレッチ、お腹周りの体操などをお伝えしました。

多くの方が体操中に苦悶の表情を浮かべていましたが、運動をするときは何より「笑顔を大切に!!笑顔で運動するだけで運動は楽だと脳が感じますし、モチベーションが上がります!」とお伝えすると皆様の顔が笑顔に変わり、和やかな雰囲気で行えました。1回目同様、講座を終えた後も質問が殺到し、腰痛に対する関心の多さを再認識しました。

最後に、市民講座を通して、地域の皆様の体についてのお悩みが少しでも解決できれば幸いに思います。また、腰痛についてお悩みの方は、当院の明石脊椎外科・腰痛センターまでお越し下さい。お待ちしております。



Post introduction

部署紹介

大久保病院
健康管理センター



健康管理センターでは人間ドック・企業健診・明石市がん検診など年間10,000人近くの方に健康診断を受診していただいています。ほかにも、脳ドック、乳がん検診、子宮がん検診など様々な検査ができます。

当院の健康管理センターは日本人間ドック学会より人間ドック健診施設機能評価の認定を受けています。この認定は受診者が安心して健診を受けられることを目的として、日本人間ドック学会が定めた様々な審査項目をクリアすることにより認定されます。



人間ドック認定医の資格を持つ山本勇造センター長を中心に、安心して受診いただける健康診断を提供するため職員一同日々尽力してまいりますので、よろしくお願いたします。

トライやる・ウィーク2018 6月4日(月)～8日(金)

「トライやる・ウィーク」の活動を通じて、豊かな感性や想像性を自ら高めたり、自分なりの生き方を見つけることを支援できればと、高丘中学校、大久保北中学校から10名の生徒を受け入れました。

初日、緊張で顔がこわばっていましたが、目はキラキラ輝き「頑張るぞ」オーラを出しながらスタートしました。

活動内容は、医師、薬剤師、放射線技師、臨床検査

技師、理学療法士、事務、看護師、看護補助者の業務内容を体験。また、ふだん見られない手術室の見学、患者様とのコミュニケーション、療養上のケアを体験してもらいました。5日間の体験から、生徒さんは、当たり前にはできない人への思いやりや、言葉がけ、接し方、医療現場の厳しさなど多くのことを学んでもらえたと思います。



トランス体験



初めて手術衣を着ました



リハビリ体験



救急車前で記念写真